

激しい雨とその音、
見慣れた川の様子が恐ろしいほどに一変

山手側から大量のと水が道路から民家道路右側)に流入
(本谷下組 12日午前11時頃撮影)



2021 07 12

上意
東
研修センターだより
令和三年八月一日

令和三年八月一日

175号

発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦

An aerial photograph showing a vast agricultural field that has been completely inundated with floodwater. The water is a dark, murky green color, covering the entire area. In the background, some trees and a few small structures are visible on a slightly elevated area. Overlaid on the image is large, bold, white Japanese text with a black outline. The text is arranged in two lines: the top line reads '農地にも甚大な被害' and the bottom line reads '秋の収穫に多大な影響'.

農地にも甚大な被害
秋の収穫に多大な影響

堤防を破壊し、田んぼに土砂が流入
(意東川と山口谷川の合流付近)



7月7日未明より午前中に雨量計で、170ミリの激しい雨が降りました。7日から11日まで、4日間、276ミリの雨が降りました。

中組地区では、道路に流入する土砂を防ぐため土嚢を準備し設置更。に土砂の撤去作業が行われました。奥組地区では5カ所がけ崩れがあり、2カ所では土砂が道路に流出。畑地区では7箇所がけ崩れが発生しました。が、速やかに生活道路の土砂の撤去が行われまし

た。高庭地区では、農地に土砂や流木などが大量に流れ込み、主に畑地区内よりのボランティアの協力で撤去作業が行われました。

激しい雨が降り続く線状降水帯が発生し、各所で川が氾濫し終日緊張した状況が続きました。消防では、情報収集と終日警戒監視。人的被害は発生しませんでした。土砂災害、道路の灌水、住宅浸水の被害が発生するなど大きな爪痕を残しました。

1 更に、12日にもほぼ半日で14川の氾濫かと思いましたが、それほどありませんでした。松江市の平均的な7月の降水量の合計は240ミリで、今回の降水合計は170ミリは記録的と思われます。

第1次避難所は従来は、研修センターでした。が、おちらと村、研

修センター付近は必ずしも安全が確保できないため、本谷地区は中組集会所、畑、高庭地区は高庭集会所に変更となっています。その後、東出雲公民館に避難することとなります。7月10日には被害状況を把握すると同時に今後の対処について、自治会など各組織が集まり今後の対応が調整されました。

上意東地区は防災訓練により、避難計画の蓄積がありますが、今後災害の対応や避難計画について更なる計画の構築と、体制について話し合いが必要と思われました。

被災されました皆様には心よりお見舞いいたします。



意東川の水が土手を乗り越え家にせまる
(高庭S氏付近の意東川)



2021 07 12



熊谷川から熊谷橋に土砂が流入
(おちらと村すぐ横)



2021 07 12

畑地区法面の崩壊

本谷奥 三島一成様より
奥様（美幸様）のご逝去に伴う香典返しとして「地域づくりの為に活用ください」とご寄付を頂きました。ありがとうございます。（NPO法人かみいとう）